

ふれあい

平成27年3月 第345号
大代地区コミュニティ推進協議会
(広 報 部)
事務局：大代地区公民館
TEL 022-364-8442

掲 載 目 次

- 山茶花大学「新春のつどい」・・・1
- サッカースクール大会出場・・・1
- 大代地区公民館まつりのお知らせ・・・2
- ふれあい短歌・・・2

- 子供の交通安全教室について・・・2
- 消えるオリオン座のベテルギウス・・・3
- 砂押川外河川
災害復旧工事2月の報告・・・4

大代地区の世帯数(平成27年1月31日現在)：東区348、中区343、西区330、北区123、南区619、合計1,763

山茶花大学「新春のつどい」

広報部

大代地区公民館で実施している高齢者大学の山茶花大学で、2月4日(水)に、「新春のつどい」が開催されたので、参加させてもらいました。

いつもですと、座学形式での講義がメインということですが、今回は大正琴・生け花・日本舞踊の鑑賞と、一風変わった内容でした。

生け花の実演も私は初めての鑑賞になりましたので、貴重な経験をさせていただきました。大正琴は、前半は演奏を鑑賞し、後半は参加者全員で合唱と合わせての演奏で終了しました。次年度も開催予定だそうですので、次回も参加したいと思います。

①



②



- ① 草月流麗光会の生け花
- ② 暁流仙台南支部の日本舞踊

③



④



⑤



⑥



- ③ 瑞穂流瑞穂会の日本舞踊
- ④ 琴伝流「琴音会」の大正琴
- ⑤
- ⑥

サッカースクール大会出場

広報部

大代地区公民館で25年度に事業として行った少年少女サッカースクールが、26年度からはサークル化して活動を行い、2月7日に多賀城市総合体育館で行われた、第11回ライオンズクラブ杯フットサル大会に初めて出場しました。

みんな元気よくピッチを駆け回り、練習と本番の違いを実感したことと思います。



これからも、しっかりと練習し、楽しみながらも力強いプレーを見せてほしいと感じました。

大代地区公民館まつりのお知らせ

大代地区公民館まつり実行委員会

平成26年度大代地区公民館まつりを、左記の日程により開催いたします。お誘いあわせの上ご来場ください。

記

日にち 平成27年3月14日(土)

3月15日(日)

内容

(開会セレモニー)

3月15日(日) 午前9時40分から10時
実行委員長挨拶・来賓紹介 など

(作品展示の部)

3月14日(土) 午後1時から午後5時
3月15日(日) 午前9時から午後3時
油絵・切り絵・はがき絵・ペン習字
パンアート・野草の展示 他

(舞台発表の部)

3月15日(日) 午前10時から終了まで
社交ダンス・レクリエーションダンス・
カラオケ・剣道・大正琴・日本舞踊 他

(清水秀彦氏 講演会)

サッカー指導者で、Jリーグのベガルタ
仙台や横浜マリノスなどで監督として指
揮を執られた清水秀彦氏による講演会を
開催いたします。費用は無料です。

日にち 3月14日(土) 午後1時30分

から3時(予定)

テーマ

「目標を達成してたくましく!!」

ふれあい短歌

大代西区 藤田 遊子

復旧の 貞山運河の

水澄みて 風光明媚 鴛鴦遊ぶ
おしどり

子供の交通安全教室について

生活安全部

新入学児童を対象に交通安全教室を開
催します。

日時 3月29日(日) 午前10時～正午

場所 大代地区公民館

内容 交通安全講話&みんなで遊ぶゲ

ーム

講師 大代駐在所長 武田 一貴氏

参加費 無料(参加したお子様におみやげ
をプレゼントします。)

申込み 3月20日(金) まで申込用紙に

記載の上、大代地区公民館窓口
に提出又は電話(364・8442)

でお申し込みください。

各区子供会、親子会の方へ

大代地区の事業として、今後共同で取り
組んでいきたいと思っておりますので、ご
協力の程宜しくお願い致します。



阪神淡路大震災二十周年目に思いをよせて

大代南区 星 繁子

「冬来たりなば春遠からず」と寒い冬の生活に希望を与えてくれる句文でもあり私は大好きでした。でも、3・11の震災以来、気象は狂ってしまったのでしょうか？

昨年の冬の大雪で北海道や日本海側の地域ではいたましい雪の事故があり心が痛みました。その冬も過ぎ、希望の春と思いきや、春の台風・竜巻・夏の台風による洪水、豪雨による広島・地滑り、長野県御岳山の噴火など次々に起こる災害には必ず人的物的な犠牲があります。3・11の震災を体験し国内のみならず世界の皆さんから暖かい御支援をいただき今日があると思っています。

私も何かしなくては!! と思いつつも何も出来ない自分に立ち市役所に足を運びました。市役所の受付には募金箱がありました。災害が発生する毎に災害地の名前が変わります。私は「元氣になってください」と真心を込めて募金を続けました。年が明け暖かいお正月が続きましたが、さて今年はどうなる年のやら。

1月17日は阪神淡路大震災から20年の

節目の年でテレビや新聞では阪神淡路の復興の状況、肉親や友人を失いつつもたくましく生きる姿。なかなか立ち上がれない人もおりました。それを支える地域の人達、ボランティアさんに頭が下がります。

私達は、常に災害と背中合わせに生活しております。いつ何処で何が起こるかかわかりません。減災を意識し、その立場でできる助け合いを考え一日一日を大切に生きようと思います。

被災地の石巻の人達は500個のキャンドルを灯し阪神淡路の震災で犠牲になられた方々の御冥福を祈っていました。私も17日朝5時46分、テレビの黙とうに合わせ御冥福を祈りました。本来なら募金の事など人に話す事ではないのですが、一人でも多くの人が助け合いに参加する輪を広げたいと思ったので敢えて書かせていただきました。

言論の自由に喝！

大代南区 針生 吉治

昨年12月の暮、25年ぶりに故郷に帰り、通夜の晩、近所の方々や寺の住職さんと話し合う機会があり、会話の中で意外と政治に関心を持っていることに気付く。

私たち高齢者を取り巻く生活環境は消費税の引き上げに加え、医療介護保険料等の引き上げ、さらに特例水準解消のための年金支給額の引き下げにより年金収入を唯一の柱としている年金生活者にとつては大変厳しいものとなっています。

新年度からは維持費の安いことで人気のある軽自動車の税金も引き上げられる。企業は経営難。国は財政難を理由に挙げればいいのかもしれないが、我々国民は家計難であっても給料は上がり泣きつく所もない。景気がいいと感じている人はほんの一部で多くの人は人ごとと冷めた思いが実情だ。

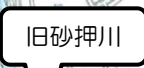
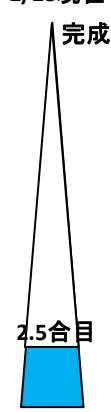
増税以前に無駄遣いはないか徹底的に見直し節約すべきである。我々はそのようにして人生設計して生活している。我々が出来て政治家が何故出来ないのか、いや、しないだけだ。

30数年前、行政改革を言い出したのは政治家自身ではないか。内容は、国会議員の数が多（衆参含む）議員を減らす事をあげ、未だにこの事を決めていない。国外支援の（額）の削減と選挙の公約へ、誠実に誠意をもって力の限りという言葉を繰り返す候補者の声が響く。我々国民が期待

工事協議会

3
7
4
0

進捗率
2/28現在

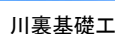


写真②

写真④



写直⑤



写直⑥

4